

山陽小野田市補助金等チェックシート

補助事業等名		<p style="text-align: center;">補助事業評価図</p>	
担当課			
補助対象分類			
補助分類1			
補助分類2			
補助実施期間			
補助終期			
補助対象者名			
備考			
評価項目	評価基準	評価点	合計点
公益性	市の総合計画等に適合した取り組みである		
	住民福祉の向上、地域の活性化につながる		
	本来の補助目的が希薄化していない		
	市の自然・歴史などの特性を生かし、その効果が市勢の発展につながる		
	多くの市民、広い地域(小学校区程度)に還元する活動や事業である※1		
効率性	過去3年以内に補助金の内容・補助額を見直した		
	補助率が2分の1以内であり、少額補助(5万円以下)でない		
	具体的に説明できる費用対効果がある		
	事業費、実施手法について、他市等と比較を行った		
	市が直接行うよりも効率的かつ効果的である		
公平性	決算書、帳簿、領収書等で用途の確認をしている		
	事業の成果を評価(確認)して公表できる		
	活動内容が地域に広く認知されている		
	他に同じ活動をしている団体と比較して、補助額が妥当である		
	適切な会費負担をしている		
優先性	事業の目的・効果に緊急性が認められる		
	安全・安心な市民生活に必要な補助である		
	行政が積極的に関与しなければならない事業である		
	周辺地域等と比較して、強化・補完する取り組みである		
	住民の参画又は主体的な活動を促進する目的がある※2		
必要性	住民のニーズが高い		
	市以外に費用負担すべき機関がない		
	市が補助金支出をして関与することが妥当である		
	本来、市が行うべき事業である		
	事業を廃止した場合、多大な影響があると認められる		
総合計点			

※1 多くの住民…人口でおおよそ10%とする。

※2 住民の参画…意志決定過程への参加を示す。

山陽小野田市補助金現況調書

補助事業等名		事業を創設してからの期間	
担当課		補助終期	
補助対象分類		補助対象団体名	
補助分類1		補助分類2	
補助目的			
事業内容			
活動成果			

(単位:円)

団体補助	年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
	補助対象全事業費			
前年度比較				
市補助金				
補助率(%)				
事業費内訳	国庫補助金			
	県補助金			
	市補助金			
	他団体補助金			
	団体負担額			
	補助対象全事業費			

再掲	前年度からの繰越額			
	当該年度積立金			

事業見直しの経緯	
今後の方向性	

※見直しをしていない場合は、できない理由を記入してください

その他所管課の意見	
-----------	--